



福島県労連

2023年10月15日 Vol.278(10月号)

発行／福島県労働組合総連合

〒960-8061 福島市五月町2-5 一番丁ビル

TEL:024(522)3097 FAX:024(522)3102

Email:fkstoren@soleil.ocn.ne.jp

URL:<https://fkstoren.org/>

いわき市労連・全医労いわき支部 BBQ（バーベキュー）交流会



9月16日（土）、いわき市労連交流会を四倉町のワシントンファームで開催しました。今回の交流会は、全医労いわき支部の呼びかけで実現したものです。市労連所属の8つの労働組合から合計33名の参加者があり、20代前半の新人組合員から、70代後半のベテラン組合員までバーベキューをしながら楽しく語らい、舌鼓を打つことができました。

（いわき市労連より）



久しぶりの交流！「楽しかった！」「またやるっ！」「またやるっ！」

建交労 東北ダンブ 福島分会 ボウリング大会



9月9日、建交労東北ダンブ福島分会は、スポーツ王国いわき平店で、ボウリング大会を開催。23人が参加しました。ゲームに入る前は「しばらくやっていないから心配だ」など不安がる声も聞かれましたが、いざ始まると各レーンから歓声が上がりました。

（建交労東北ダンブ福島分会より）

福島県議会議員選挙11月2日告示、11月12日投票 私たちの暮らしを守る大事な選挙!必ず投票に行きましょう!

今回の県議会議員選挙は、私たちの暮らしをどう守るかが問われる大切な選挙です。内堀県政はALPS処理水海洋放出の対応に見られるように、岸田政権言いなりで、悪政から県民を守る役割を果たせていません。また県政の重点が「イノベーション・コースト構想」「福島国際研究教育機構(FIREI)など大型開発優先になり、避難者の支援、医療、福祉、教育などが後回しにされています。こうした内堀県政を自民党・公明党と県民連合が支持しています。

県議会の定数は58です。現在の党派ごとの内訳は、自民31、県民連合18(立憲民主11、無所属7)、日本共産党5、公明党4で、女性議員は5人(自民党1、共産党4)です。

福島県労連は県議会に対し、独自に、あるいは県労連も加盟する共同組織で、さまざまな請願を提出してきましたが、否決や採択しない態度が続いており、私たちの

<意見書・請願への態度>

意見書・請願	自民	公明	県民	共産	可否
物価高騰に見合った最低賃金の引き上げ	△	△	△	○	継続
県立高校生タブレットの全額公費負担	△	△	△	○	継続
学校給食費無料化等への県の助成	△	△	△	○	継続
消費税5%への減税、インボイス制度の実施中止	×	×	×	○	否決
ALPS処理水の海洋放出中止	×	×	×	○	否決
健康保険証の廃止撤回	×	×	×	○	否決
加齢性難聴者への補聴器補助	×	×	×	○	否決
教育予算の増額	×	×	×	○	不採択
敵基地攻撃能力保有を含む大軍拡方針の撤回	×	×	×	○	否決

要求に背を向ける状況が続いています(左表参照)。私たちのねがいをかなえる政党、候補者はどこなのか、しっかりと考え、必ず投票に行きましょう。

○=賛成、×=反対、△=継続の態度。継続となったものは、県議会議員の任期満了とともに廃案になります。



第65回福島県母親大会に350人参加

9月16日(土)、第65回福島県母親大会がオンラインで開催され、県内各地から350名が参加しました。

東京大学大学院の鈴木宣弘教授が「世界で最初に飢えるのは日本、食と命を守るために私たちができること」と題した記念講演を行い、「日本の食料自給率は種や肥料の自給率の低さから考慮すると10%前後。軍事費よりも農業にこそ早急に予算をつけ、消費者も地元の食品を購入し、支えよう」と訴えました。



「なくせじん肺」全国キャラバン実施

建交労福島県農林支部や福島県労連で構成する「なくせじん肺全国キャラバン」福島県実行委員会は、10月10日、福島県行動を実施しました。全国キャラバンは、じん肺、アスベスト被害の早期救済と、じん肺などすべての労災職業病の根絶を目的に、1990年から実施されているもので、今年で第34回目の行動になりました。当日は、福島労働局への要請と福島駅前での宣伝署名行動(写真)を行いました。

10月17日には、福島県と県議会に要請します。

★各単産・地方労連の定期大会★

農協労連

第114回定期大会

7月22日、郡山市で、4年ぶりにリアル開催。安心して働き続けられる職場づくりをめざし、組織一丸となったかたていくことを意思統一。添田雅弥中央執行委員長、鈴木修書記長を再任しました。

福島県医労連

第65回定期大会

9月17日、二本松市で開催。社会保障の拡充、医療・介護・福祉分野で労働組合の役割を発揮することを確認。高橋勝行執行委員長、佐藤啓子書記長を再任しました。

会津地方労連

第35回定期大会

9月16日、医療生協健康づくりセンターで開催。各職場での労働条件の改善と、多くの労働者、国民とともに憲法に基づき一人ひとりが大切にされる社会をめざすことを確認。折笠由美子新議長を選出。池田雄次郎事務局長を再任しました。



年金者組合福島県本部 第35回定期大会

7月26日、二本松市で、4年ぶりに組合員数比例による代議員を選出して開催。物価に見合った年金引き上げ、年金裁判勝利、2千人の仲間づくりをかちとることを確認。佐藤征司執行委員長、安齋通書記長を再任しました。

郡山地方労連 第35回定期大会

9月13日、労働福祉会館大ホールを会場に、参加者席の間隔を十分に取る工夫をしてリアル開催。品川萬里郡山市長がいさつ。全ての議案が承認され、笠原浩議長を再任、草野芳明事務局長を新任しました。

いわき市労連 第35回定期大会

9月21日、いわき教育会館で開催。加盟組織の連携を深め、組織の拡大・強化をすすめることを確認。能戸俊輔議長、鈴木茂男事務局長を再任しました。



自治労連福島県本部 第36回定期大会

9月16日、郡山市で開催。民主的自治体労働者の姿を学び、新自由主義政治を止め、公務公共を訴え、人員不足解消、ハラスメント改善を確認しました。笠原浩委員長を再任し、菅野俊夫書記長を新任しました。

医労連・しのぶ福祉会パワハラ裁判

判決は10月26日(木)

午後1時15分から、仙台高裁で

*判決言い渡し後、「報告集会」も開かれます。

多くのみなさんの参加(傍聴)をおねがいします!

福島県最低賃金

10月1日から時間給900円に！



いわき市労連宣伝行動の参加者のみなさん(10月7日、イオンモール小名浜前)

福島県最低賃金は、10月1日から、時間額900円に引き上げられました。この改定を市民に知らせる宣伝行動を、福島(10月2日)、いわき(10月7日)で実施しました。最低賃金の水準は低く、最低限の生活を保障するものではありません。また東京都(時間額1113円)との差が213円もあり、年間では40万円以上の差になります。「全国一律・1500円以上」を実現しましょう。



まちがいは7つ



〈問題〉上の絵と下の絵を比べると7カ所のまちがひがあります。どこでしょう。印刷のよれやかすれ、スクリーントーンの濃淡はまちがひに入りません。

応募のしかた

正解者5名に

図書カード当たります！

応募はハガキ(メールも可)に、①クイズの答え、②氏名(ふりがなも)、③住所、④所属労組名、⑤ひとことを必ず(必要な方はペンネームも)書き添えてご応募ください。締め切りは11月15日です。抽選で5名の方に図書カードをプレゼントします。

276号(6~7月合併号)のクイズの答えと当選者

答えは左から①左端の女性の水着 ②寝ている女性の右腕③帽子の飾り ④氷の旗⑤ハチマキ⑥手前男性のペンダント⑦少年のジュースの缶でした。応募者は7名で全員が正解。次の5名の方に図書カードを送ります。

- ◇福厚労鹿島分会 かめさん
◇会津地方労連 赤べこさん
◇年金者組合福島支部 長谷川重範さん
◇こだま交通労組 ミキケンさん
◇福島県医労連 ナマステさん

県人事委員会勧告

月例給、ボーナスとも引き上げ



安斎真県公務労組連絡会議長(左)が、紺野香里県人事委員会事務局長(右)に要求書と団体署名(89団体分)を手交(9月15日、県庁)

県人事委員会は10月3日、2023年度の県職員の月例給を平均0.88%、32334円、期末・勤勉手当を0.1ヶ月分(年間4.45月に)引き上げるよう県と県議会に勧告しました。これに先立ち、県公務労組連絡会は、9月15日、県人事委員会交渉を実施。物価高騰のもと民間準拠による配分ではない賃上げが切実に求められていること、長時間労働改善、人員増、定年延長制度の下での再任用職員の処遇改善、会計年度任用職員の賃金・労働条件の改善などを強く求めました。

聞いて聞いて

私の思い みんなの願い

- ☆10月末の地元フェスが無事終わりますように!!(4年ぶり)
(福厚労鹿島分会 かめさん)
☆定期大会が3年ぶりに対面で行われ、それぞれの「声」を聞き、改めて組織拡大の重要性が必要だと思いました。
(会津地方労連 くらねこさん)
☆10月から最賃900円に!!103万の壁の対策を早く打ち出してほしい。
(みやぎ生協労組 だちんさん)
☆未だに有給休暇を私的に取れない会社もあること見てびつくりしました。
(幸子CHD病院労組二本松支部 川名豊さん)
☆秋めいてきましたね。
(福島県医労連 ホエイさん)

自動車共済

割安な共済掛金、補償は充実! 等級別割引・割増の継承ができる!

全労連共済 お申し込み・お問い合わせは各共済会へ